

こんにちは

小地域福祉活動計画

竜谷学区福祉委員会です。

OKAZAKI

健康で安全な暮らし 見守り話し合う地域

私たちはだれでも、住み慣れた地域で安心して生活できることを望んでいます。

しかし、私たちの身のまわりでも高齢化、少子化は急速に進行しており、地域の中には一人暮らし高齢者、ねたきり・認知症の高齢者をかかえる世帯など、公的なサービスを含めた何らかの手助けがないと地域で安心して暮らしていけない家庭が増えています。その他にも一人親世帯、障がい者世帯等何らかの手助けが必要な方も多く生活されています。

そこで、“困った時はお互いさま”“向こう三軒両隣り”の感覚で、ちょっとした支援をしあうことで昔ながらの地域コミュニティが復活すれば、お互いに、より安全で心豊かな生活になるのではないのでしょうか。

そのために、学区で地域福祉に心ある方が中心になって福祉委員会を組織し、自主的な活動を通じて地域として必要なものをみつけ、行政や社会福祉協議会とも共同して住みよいまちづくりを実現していく役割が期待されています。学区福祉委員会はそのためのものである一つの組織の一つです。

今回、学区福祉委員会の活動目標となる「小地域福祉活動計画」を作りました。今後はこれを目標に地域福祉活動を行っていきます。

1 竜谷学区 福祉委員会とは？



竜谷学区

竜谷学区は、人口約3,000人の小さな学区で、高齢化率が約28%と市内でも非常に高い地域です。特に宮ノ入住宅には、多くの高齢者の方が暮らしています。また、学区内には、高齢者向けの施設が3施設あります。

竜谷学区福祉委員会の特徴

(平成15年6月14日設立)

- 学区団体関係者35人で委員会を構成しています。
- 地域福祉活動部、広報部、研修企画部を設け、各委員がいずれかの部に所属しています。
- 組織形態としては学区社会教育委員会等との線引きをしつつ、常に連携を意識した活動を心がけています。
- 竜谷小学校の積極的な協力が得られるようになっています。



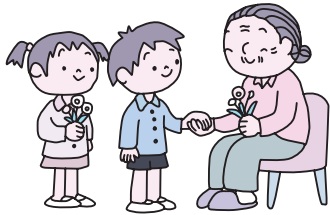
2 竜谷学区 福祉委員会の活動

主な活動 現在このような活動を行っています。

ゲートボール、グランドゴルフ

見守りネットワーク（激励訪問）

ふれあい健康クラブ



愛犬パトロール

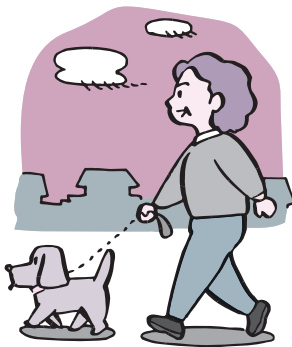
世代間交流事業 1（食育の会）

世代間交流事業 2（読み聞かせの会）

●ふれあい健康クラブ

開催日時／毎月1回 午前9時30分～11時30分

毎月1回、公民館等で高齢者を対象とした「ふれあい健康クラブ」を開催しています。健康体操やカラオケ、ぬり絵制作など、月毎に異なったメニューで実施しています。会場は3つの公民館、集会所に分けて行っています。保健所事業のサポートから発展した事業で、福祉委員会事業として定着しています。健康推進を中心に企画し、市体操連盟、食生活改善委員の指導・協力を得て、介護予防等も意識しながら実施しています。



●愛犬パトロール

地域の見守り活動として「愛犬パトロール」を奨励、実施しています。学区の愛犬家に、学童の下校時間に合わせて散歩していただくことで、学童や一人暮らし高齢者などの見守りや、不審者のパトロールにご協力を得ています。平成21年1月現在の登録犬数は74犬ですが、これを100犬にする目標を掲げています。駐在所からも防犯効果が高いという評価をいただいています。

●世代間交流事業

食育の会（平成20年11月実施）

「食育の会」は、親・子・孫の3世代間の交流を図るため、今年度初めて実施しました。竜谷小学校の調理室、体育館をお借りし、子どもたちの作ったさつまいもや高齢者が持ち寄ったお米などを調理して、3世代が同じテーブルで食事をしました。開催にあたっては、竜谷小学校のご協力をいただき、PTAと学区福祉委員会の共催で進めさせていただきました。

読み聞かせの会（平成20年8月実施）

「読み聞かせの会」も、3世代間の交流を図るための新規事業です。高齢者の健康クラブと同じ日、同じ場所で小学生を対象とした読み聞かせを行い、その後、お手玉などをしながら世代間の交流を図りました。小学生の長期休暇の時期に開催するため、今後は年1,2回の実施を予定しています。

3 竜谷学区 福祉委員会の小地域福祉活動計画

「岡崎市地域福祉計画」（市計画）、「岡崎市地域福祉活動計画」（市社協計画）の内容やこれまでの学区福祉委員会での検討を踏まえて、今後5年間の中で次の活動に取り組みます。

活動1 孤立死の防止に対するモデル事業

一人暮らし高齢者が多い学区内を対象とした孤立死防止の活動に取り組みます！

活動のイメージ

①訪問活動

激励訪問のノウハウを活かして、対象となる世帯を定期的に訪問し、安否確認、近況の聞き取り等を行います。

②見守り活動

訪問とは別に外からの見守り（生活サインの確認）、広報誌・情報誌等の配布、新聞店等の協力を得た見守り活動を行います。

③サロン活動

随時又は定期的に地域の居場所（いきいきサロン等）に集い、交流ができるようにします。



活動の目的

高齢者等の孤立死の防止・早期発見及び住民への意識啓発

対象

竜谷学区にお住まいの一人暮らし高齢者をはじめとした孤立するおそれのある住民

●活動の流れ（イメージ）

①訪問するエリアを特定します。

対象となる高齢者等が一定数存在する地域で、訪問活動、見守り活動が行いやすい地域を設定します。本学区では「宮ノ入住宅」等

②訪問・見守り等の対象者を決めます。

見守りを希望する人を募る方法、何らかの名簿を活用する方法、学区福祉委員会等での情報交換の中から対象を抽出する方法等があります。個人情報保護に配慮しつつより狭いエリアで実施します。

③訪問活動、見守り活動、サロン活動の内容及び方法、活動者、活動の頻度、体制等を決め、活動を開始します。

対象となる人の特徴や希望を考慮し、一律ではない個別的な対応ができるようにします。サロン活動と場所の問題等ですぐに実施できない活動は先送りにします。

④対象者の変化やニーズに対応できるよう、定期的に活動事例を報告し合い、経験交流を行います。

報告、経験交流の中で地域の福祉ニーズを知るとともに、活動のノウハウを蓄積して行きます。

⑤1年に1回は学区福祉委員会で年間活動を総括し、深刻なケース、専門家の関わりが求められるケース等があれば、ある程度整理した上で、社会福祉協議会・市役所に必要な提案・提言（ソーシャルアクション）を行います。

活動2

世代間交流事業

竜谷小学校の理解と協力を得ながら、親・子・孫の三世代交流を意識した行事を実施します。

活動のイメージ

①小学校を会場にした三世代交流事業

小学校に子ども、親、祖父母等が集い、何らかのテーマのもとで学習・交流を行います。

▶食育がテーマであれば食材・食事をテーマにした学習と調理体験、会食等

②地域の会場での三世代交流事業

子どもの長期休業期間を活用し、小学校の協力を得ながら地域で三世代交流ができる行事を企画、実施します。

▶「読み聞かせの会」高齢者向けのいきいきサロン等の開催日に子どもに本の読み聞かせをする企画をセットし、終了後交流の時間を設ける等



③地域行事の中での三世代交流事業

地域団体が主催する年間行事の中で世代間交流ができるプログラムを実施します。

▶子ども会等の行事の中に高齢者等を招待する。老人クラブ等の行事の中に子どもたちを招待する等

活動の目的

親・子・孫と世代間の交流を通じて、世代間の理解と地域文化の継承を目指します。

対象

学齢期以上の地域住民

●活動の流れ（イメージ）

①どのようなタイプの世代間交流を行うかを決めます。

「学校」「地域」「地域行事の一環」によって方法等が変わってくるのでいずれかを選択します。

②タイプによって準備方法を工夫し、計画を立案します。

1)「学校」で実施する場合には、学校で教育計画、年間行事等の中に位置づけていただけるか否か早い段階での協議が必要となります。その際に、地域団体が提供できるプログラムを具体的に提示することが必要です。

2)「地域」で実施する場合には、会場の確保、参加対象者（世代）の選定、小学校等との連携、事業規模、会場までの交通手段等について協議し、プログラムの具体化を図ります。また、必要に応じて支援者を確保し、協力が得られるようにします。

3)「地域行事」の中で実施する場合は、どの行事とするか、会場の確保、対象学童（世代）の選定、小学校等との連携、事業規模、会場までの交通手段等について協議し、プログラムの具体化を図ります。また、必要に応じて支援者を確保し、協力が得られるようにします。

③世代間交流事業の実施

計画とプログラムに沿って、世代間交流事業を実施します。時間帯に関わらず、子どもの送迎については十分な配慮を行います。

④世代間交流事業の成果と満足度の調査

行事の中での話し合いやアンケートを通して交流事業の成果や参加者の満足度を把握するようにします。

⑤1年に1回は年間活動を総括し、実施方法、プログラム等の内容を検討します。